



2022年10月25日

各 位

会社名 株式会社東武住販
代表者名 代表取締役社長 荻野 利浩
(コード：3297 東証スタンダード・福証Q-Board)
問合せ先 取締役経理部長 河村 和彦
(電話番号：083-222-1111)

取締役会の実効性評価の結果概要に関するお知らせ

当社は、取締役及び監査役に対して取締役会の実効性評価に関するアンケートを実施して、その結果概要をまとめましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 分析・評価の方法

当社は、取締役及び監査役を対象として、第39期取締役会の実効性評価に関するアンケートを実施し、その回答を集計及び分析したうえで、取締役会において報告いたしました。

当該アンケートは主に次の分野で構成されております。

- (1) 取締役会の構成
- (2) 取締役会の運営
- (3) 取締役会外の体制
- (4) その他の課題

上記の各項目について、評価を行うとともにその判断をした根拠、問題点あるいはコメントを記述する形式となっております。

2. 評価結果の概要と課題

第39期の当社取締役会における評価結果と指摘された課題の概要は、以下の通りです。

- (1) 取締役会の構成…取締役会の構成については、おおむね適正との意見が多かったものの、独立社外取締役の追加選任を求める意見などがありました。
- (2) 取締役会の運営…運営方式については適正と評価されたものの、議論をより活発にして改善を図るべきとの意見などがありました。また、より充実させたいテーマとして、経営方針、経営課題及び人材育成などが挙げられました。

- (3) 取締役会外の体制…取締役会外の活動として役員間の連携や情報交換などが評価されているものの、ガバナンス体制の整備上の課題に対する取組みについて、報告機会を設けるなど改善の余地があるという意見や、役員のトレーニングについても改善を要望する意見などがありました。
- (4) その他の課題…中長期ビジョン、経営上の課題、企業戦略など事業に関する協議を求める意見に加えて、後継者の育成計画や指名委員会等の体制に関する協議を求める意見もありました。

3. 今後の当社の対応について、

当社取締役会は、第 39 期取締役会の評価及び意見を真摯に受け止め、取締役会の実効性を高めるべく改善策を実行してまいります。また、今後も実効性評価と結果の分析を実施し、取締役会の実効性向上、コーポレートガバナンスの強化に努めてまいります。

以 上